

関係各位

## Technical Bulletin 264 について

紀伊國屋書店

これは Technical Bulletin 264 の和訳です。

英語版は<http://www.oclc.org/support/services/worldcat/documentation/tb/264.en.html>でご確認下さい。

また、原文には入力例がありませんので、LCのMARC 21 Format for Bibliographic Data やMARC 21 Format for Authority Data から抜粋してつけているものがあります。

### **OCLC-MARC Format Update 2014, Phase 2**

この Format Update での変更の多くは Resource Description and Access (RDA) と関連したものです。今回の変更は以下の文書に基づくものです。

- ・ MARC 21 Format for Authorities Data Update 16 (April 2013)
- ・ MARC 21 Format for Bibliographic Data Update 16 (April 2013)
- ・ MARC 21 Format for Holdings Data Update 16 (April 2013)
- ・ MARC 21 Format for Authorities Data Update 17 (September 2013)
- ・ MARC 21 Format for Bibliographic Data Update 17 (September 2013)
- ・ MARC 21 Format for Holding Data Update 17 (September 2013)
- ・ MARC 21 Format for Authorities Data Update 18 (April 2014)
- ・ MARC 21 Format for Bibliographic Data Update 18 (April 2014)
- ・ MARC 21 Format for Holding Data Update 18 (April 2014)
- ・ MARC Code List Technical Notices
- ・ Comments and requests from OCLC users and staff

#### **Phase 2**

Updates 16-18 に関連する変更は2段階で文章化されています。この文書では Phase 2 に関連する変更が掲載されています。Phase 1 に関する変更は Technical Bulletin 263 (<http://www.oclc.org/support/services/worldcat/documentation/tb/263.en.html>) にまとめられています。

## レコード処理上の情報

すべての章でOCLC-MARCレコードをローカルシステムで処理する際に影響するよう  
な変更について説明しています。

## この情報の対象者

目録担当者、ローカルシステム担当者、自動化担当者

## オンラインでのインストール

特に告知のない限り 2014 年 8 月に実施されます。OCLC-MARC Update は段階  
的にインストールされ、OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT  
listserv などで告知します。

OCLC では使用が可能になった事をお知らせするまで新しい機能、新しい Tag、  
Subfield、新しいインジケータ、新しい入力方法、新しいコードを使用しないよう強く推  
奨します。

## 新しいタグ、サブフィールド、インジケータ：

OCLC から使用可能との告知後、Record Manager と Connexion 両インターフェイスで  
使用できます。

## 注：

Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で≠c の繰り返しは妥当にもかかわらず、  
該当の典拠レコードでは≠c が繰り返されていないアクセスポイントについては、典拠ファ  
イルでのコーディング方法を踏襲して下さい。現在は≠c が繰り返されていない典拠レコ  
ードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、将来典拠レコードが≠c リピートに修正  
されれば書誌レコード内のアクセスポイントも更新される事になります。

Name Authority Cooperative (NACO) 参加館は今の時点では第 2 章の典拠フォーマット変  
更を使用しないで下さい。米国議会図書館と OCLC は名称及び件名典拠レコードでそれ  
らの項目の使用が可能になった際にお知らせします。

## 新しいコード：

OCLC から使用可能との告知後、Record Manager と Connexion 両インターフェイスで  
使用できます。

## 新しい検索方法と索引：

全ての新しい検索方法と索引は両 Connexion インターフェイス（クライアント及びブラウ  
ザー）で将来使用可能となります。OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、  
OCLC-CAT listserv などで告知します。

インストール後、全ての索引変更は WorldCat の再索引に従って徐々に見えるようになり  
ます。

## データベース内のレコード変換：

OCLC は可能な限りデータを適切な新しい形式に変換します。

## 影響を受けるマニュアル類

Authorities: Formats and Indexes、 Bibliographic Formats and Standards、OCLC-MARC

## Records、Searching WorldCat Indexes

## 記号

本文中のRはRepeatable（繰り返し使用可）、NRはNonrepeatable（繰り返し使用不可）を表しています。ブランクは「#」で表しています。

## 1. 書誌レコードの変更

## 007 Physical Description Fixed field (Sound recording)

≠eのコード  
qの名称と定義  
変更

q 4チャンネル、マルチチャンネル、サラウンド  
録音資料は4チャンネル以上で再生されるように設定されている。

以前の名称は4チャンネル  
録音資料は4チャンネルで再生されるように設定されている。

## 015 National Bibliography Number (R)

新sub.

≠q 限定情報 (R)  
≠aまたは≠zに記録されている国別書誌番号を限定する巻数  
またはその他の情報

例： 015 ## F67-835 ≠q v. 1

2013年に≠qが定義される以前、限定情報は≠a（国別書誌番号）に含まれていた。

## 020 International Standard Book Number (R)

新sub.

≠q 限定情報 (R)  
≠aまたは≠zに記録されているISBNに結びついた個別資料  
に関する限定情報を簡潔に表示したもの

例： 020 ## 0914378260 ≠q pbk. ≠q v. 1 ≠c \$5.00

020 ## 0394502884 ≠q Random House ≠c \$12.50

020 ## 0877790086 : ≠c \$10.00

020 ## ≠z 0877790105 ≠q Fabrikoid ≠c \$12.00

020 ## 0877790019 ≠q black leather ≠z 0877780116 :  
≠c \$14.00

020 ## 0877790124 \$q blue pigskin ≠c \$15.00

020 ## ≠z 0877790159 ≠q easel binding ≠c \$16.00

2013年に≠qが定義される以前、限定情報は≠a (ISBN) と  
≠z (キャンセル/無効の ISBN) に含まれていた。

## 0 2 4 Other Standard Identifier (R)

新 s u b .                    ≠ q    限定情報 (R)  
   ≠ a または ≠ z に記録されている番号に結びついた個別資料  
   に関する限定情報を簡潔に表示したもの

例 : 024 2# M570406203 ≠q score ≠q sewn ≠c EUR28.50

s u b . の                    ≠ c    入手可否に関する用語  
定義変更                                    価格、入手可否の簡潔な表示、及び入手可能性に関する限定  
   情報  
   ≠ a に番号がある場合、情報はこの Sub. に記録されるのみ

## 0 2 7 Standard Technical Report Number (R)

新 s u b .                    ≠ q    限定情報 (R)  
   ≠ a または ≠ z に記録されている番号に結びついた個別資料  
   に関する限定情報を簡潔に表示したもの

## 0 4 1 Language Code (R)

s u b . の                    複数の MARC 21 言語コードが含まれる全ての sub. は 1 コード毎に  
変換                                    個別の sub. に変換される。

例 : 041 ## engfreswe → 041 ## eng ≠a fre ≠a swe

## 0 4 6 Special Coded Dates (R)

新 s u b .                    ≠ o    集積整理されたコンテンツの単一年または開始年 (NR)  
   コレクション/アグリゲーションコンテンツが最初にリリース  
   された際の単一年または開始年

≠ p    集積整理されたコンテンツの終了年 (NR)  
   コレクション/アグリゲーションコンテンツが最初にリリース  
   された際の終了年

索引                                    ≠ o、≠ p は実体属性 (Entity Attributes) インデックス  
   (e n :) に索引される。

索引は将来利用可能となる。OCLCはログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listservなどで変更後の索引利用可能を告知する。

## 1 1 0 Main Entry-Corporate Name (NR)

s u b . の  
繰り返し規則  
変更

≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地は繰り返した≠ cに入力する。限定語として ( ) で団体名に付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

注 : Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で≠ cの繰り返しが妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは≠ cが繰り返されていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコーディング方法を踏襲して下さい。現在は≠ cが繰り返されていない典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、将来典拠レコードが≠ cリポートに修正されれば書誌レコード内のアクセスポイントも更新される事になります。

## 1 1 1 Main Entry-Meeting Name (NR)

s u b . の  
繰り返し規則  
変更

≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地は繰り返した≠ cに入力する。限定語として ( ) で団体名に付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

例 : 111 2# World Peace Conference ≠n (1st : ≠d 1949 :  
≠cParis, France; ≠c Prague, Czechoslovakia)

注 : Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で≠ cの繰り返しが妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは≠ cが繰り返されていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコーディング方法を踏襲して下さい。現在は≠ cが繰り返されていない典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、将来典拠レコードが≠ cリポートに修正されれば書誌レコード内のアクセスポイントも更新される事になります。

## 2 6 5 Source for Acquisition/Subscription Address (NR)

Tag の廃止

データ変換

既存レコードの Tag 265≠ aは 037≠ bに変換される。

### 3 4 5 Digital File Characteristics (R)

sub. の名称変更      ≠ f 符号化ビットレート (R) 以前の名称は 通信速度  
ストリーミング音声、ビデオ等の設計上の再生速度。

例 : 347 ## audio file ≠ b MP3 ≠ f 32 kbps ≠ 2 rda

### 3 6 3 Normalized Date and Sequential Designation (R)

新 sub.      ≠ 8 フィールドリンクと連番 (R)  
リンクされた Tag を特定し、複数のリンクされた Tag の順番を提示する。  
≠ 8 は複数の他の Tag グループとのリンクを示すため、繰り返しが可能。リンクはシステムで作成したり、メンテナンスされたりしないため、手動での作成とメンテナンスが必要。Tag をリンクさせ、連番を振る構造と構文は以下の通り。

≠ 8 [リンク番号]. [連番] \ [リンクのタイプ]

使用する際、≠ 8 は必ずその Tag の最初の sub. とする。

注 : ≠ 8 は Tag 852 では異なった定義となっており、関連した所蔵レコードの順番を示すために使用される。

≠ 8 は 3 つの部分に分かれる。

リンク番号はこの sub. の最初のデータ項目であり、必須。リンクさせる全ての Tag で ≠ 8 に発生する整数を可変長で入力。同じリンク番号を持つ Tag はリンクしていると考えられる。

連番はリンク番号、「. ピリオド」のあとに置かれ、任意で使用される。これは、可変長の整数でリンクされた Tag の相対的表示順序を示すために使用(少ない番号は多い番号の前に表示される)。使用される場合は同じリンク番号を持つ全ての ≠ 8 に入力されなければならない。

リンクのタイプは上記の後に逆スラッシュ「\」を挟んで入力。このコードはリンクの理由を示し、リンク番号と連番(もしあれば)の後に続く。≠ 8 が 85X-87X の所蔵 Tag とのリンクと順番を示すために使用されている場合を除いてリンクのタイプは必須。

リンクタイプコード a      アクション  
1 つ以上の Tag と処理や参照の行動に関連した別の Tag とのリンク。このコードはその他の 5XX と関連する複数の 5XX が

ある場合のみ典型的に使用される。

- c 構成要素としての個別資料  
コレクションのレコード、もしくは識別できる複数の構成要素の集まりのレコードに使用し、構成要素に関連した Tag とリンクさせる。レコード中のその他全ての非リンクデータはコレクションまたは個別資料全体に関連する。
- p メタデータ由来  
リンクされた Tag 中に記録されているメタデータの由来に関する情報を含むその他の Tag とのリンクに使用する。
- r 複製  
複製のみに関する情報を含んでいるという理由でリンクしている Tag を識別ために複製資料のレコードで使用する。レコード中のその他の記述情報はオリジナルに関したもの。(007(固定長の形態記述)、固定長 Form、245≠h(タイトル表示/媒体)、533(複製注記)の例外あり。)
- x 一般的な順番  
Tag 間にリンクを作成し、それらの順序を示すために使用する。長いために分割されている 1 つの Tag の部分を順序づけたり、順番の中で Tag の相対的重要度を示したり、その他の順序付けの目的で使用される。このコードを使用する場合、≠8 中の連番は必須。

例 : 362 0# ≠a 1949(1951); 1956(1959) nachgewiesen

363 00 ≠8 1.1\X ≠i 1949 ≠v 1951

363 10 ≠8 1.2\X ≠i 1956 ≠v 1959

110 2# United Nations ≠0 (DE-101b)333-5

245 00 UN monthly chronicle ≠c United Nations Office of  
Public Information

362 0# 1. 1964-19. 1982, 5

363 00 ≠8 1.1\X ≠a 1 ≠i 1964

363 10 ≠8 1.2\X ≠a 19 ≠b 5 ≠i 1982

### 3 8 5 Audience characteristics (R)

Tag 新設

定義

資料が対象とする人のカテゴリー、または資料内容に相当と考えられる知的水準を表す人のカテゴリー。

もし、グループ層が特定できなければ、資料対象者の複数の特徴を同じ語彙の出典またはコードリストから選び、同じ Tag

の個別の≠a、≠bに入れる。グループ層が特定できれば、この Tagにある特徴は全て同グループに該当するものでなければならない。異なる語彙の出典から来た用語は個別の 385 に入れる。

ind. 1

# 未定義

ind. 2

# 未定義

sub.

≠ a 資料対象を表す語 (R)  
記述している著作の対象者。資料対象が複数のグループ層に分かれる場合は sub. を繰り返す。

例 : 245 00 My first book of limericks  
385 ## Children ≠2 lcsb

245 00 Creative color for the oil painter.  
385 ## Painters ≠2 lcsb

≠ b 資料対象コード (R)  
記述している著作の対象者を表すコード。

≠ m グループ層を表す語 (NR)  
≠ a や ≠ b にある用語やコードが所属しているグループ層指示子(例えば、年齢層、宗教団体)。

例 : 245 10 Essential math, science, and computer terms for college freshmen.  
385 ## ≠m Educational level group ≠a College Freshmen  
≠2 ericd

≠ n グループ層コード (NR)  
≠ a や ≠ b にある用語やコードが所属しているグループ層を表すコード(例えば、年齢層、宗教団体)。

例 : 245 10 Essential Spanish for policemen, lawyers, and judges.  
385 ## ≠n occ ≠a Police ≠a Lawyers ≠a Judges ≠2 lcsb

≠ O 典拠レコード管理番号または標準番号 (R)  
関連した典拠レコードのシステム管理番号、創作者等の名称に関する国際標準識別子 (I S N I) のような国際識別子。  
管理番号や識別子は関連した典拠レコードの MARC 機関コードや標準識別子スキームの標準識別子ソースコードを前に付加し、( ) に入れて入力する。  
機関コードは MARC Code List for Organizations (<http://www.loc.gov/marc/organizations>)、標準識別子のコードは Standard Identifier Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard->

identifier.html)を参照。≠0は異なる管理番号や識別子を入れられるように繰り返し可。ローカルの典拠識別子は、ローカル編集で≠0に入力可だが、WorldCatのマスターレコードへの追加は不可。

- ≠2 ソース (NR)  
資料対象者の情報を記録するために使用した用語やコードのソースを特定する MARC コード。Subject Heading and Term Source codes  
(<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/subject.html>)  
または Target Audience Code and Term Source Codes  
(<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/target-audience.html>)を参照。

- ≠3 資料特定 (NR)  
この Tag 内容に該当する記述資料の一部を特定する。

索引 ≠a、≠b、≠m、≠nは実体属性 (Entity Attribute) インデックス (en:)に索引される。

索引は将来利用可能となる。OCLCはログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listservなどで変更後の索引利用可能を告知する。

### 386 Creator/Contributor Characteristics (R)

Tagの新設

定義 著作や著作の編纂の創作者、または表現形や表現形の編纂の寄与者が所属しているグループのカテゴリ。

もし、グループ層が特定できなければ、創作者/寄与者の複数のカテゴリを同じ語彙の出典またはコードリストから選び、同じ Tag の個別の≠a、≠bに入れる。グループ層が特定できれば、この Tag にある特徴は全て同グループに該当するものでなければならない。異なる語彙の出典から来た用語は個別の 386 に入れる。

ind.1 # 未定義

ind.2 # 未定義

sub. ≠a 創作者/寄与者を表す語 (R)  
記述している著作の創作者/寄与者のグループカテゴリ。  
創作者/寄与者が複数のグループ層に分かれる場合は繰り返し可。

例 : 245 00 Short story masterpieces by American women writers.

386 ## Americans ≠a Women ≠2 lcsh  
 386 ## North Americans ≠a Women ≠2 ericd

≠ b 創作者／寄与者のコード（R）  
 記述している著作の創作者／寄与者のグループカテゴリーを  
 コードで表したものの。

≠ m グループ層を表す語（NR）  
 ≠ a や ≠ b にある用語やコードが所属しているグループ層指示  
 子（例えば、年齢層、宗教団体）。

例：245 00 Buddhists talk about Jesus, Christians talk about  
 Buddha.  
 386 ## ≠m Religious group ≠a Christians ≠a Buddhists

≠ n グループ層コード（NR）  
 ≠ a や ≠ b にある用語やコードが所属しているグループ層を  
 表すコード（例えば、年齢層、宗教団体）。

例：245 00 Diamonds are forever : ≠b artists and writers on  
 baseball.  
 386 ## ≠n occ ≠a Artists ≠a Authors ≠2 ericd

≠ 0 典拠レコード管理番号または標準番号（R）  
 関連した典拠レコードのシステム管理番号、創作者等の名称に  
 関する国際標準識別子（ISNI）のような国際識別子。  
 管理番号や識別子は関連した典拠レコードの MARC 機関コードや  
 標準識別子スキームの標準識別子ソースコードを前に付加し、  
 （ ）に入れて入力する。  
 機関コードは MARC Code List for Organizations  
 (<http://www.loc.gov/marc/organizations>)、標準識別子の  
 コードは Standard Identifier Source Codes  
 ([http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-  
 identifier.html](http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-<br/>
  identifier.html)) を参照。≠0 は異なる管理番号や識別子を  
 入れられるように繰り返し可。ローカルの典拠識別子は、  
 ローカル編集で≠0に入力可だが、WorldCat のマスターレコー  
 ドへの追加は不可。

≠ 2 ソース（NR）  
 資料対象者の情報を記録するために使用した用語やコードの  
 ソースを特定する MARC コード。Subject Heading and Term  
 Source codes  
 (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/subject.html>)  
 または Target Audience Code and Term Source Codes  
 ([http://www.loc.gov/standards/sourcelist/target-  
 audience.html](http://www.loc.gov/standards/sourcelist/target-<br/>
  audience.html)) を参照。

≠ 3 資料特定（NR）

この Tag 内容に該当する記述資料の一部を特定する。

索引  $\neq a$ 、 $\neq b$ 、 $\neq m$ 、 $\neq n$  は実体属性 (Entity Attribute) インデックス (en:) に索引される。

索引は将来利用可能となる。OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listserv などに変更後の索引利用可能を告知する。

## 5 8 8 Source of Description (R)

ind. 1 新設

表示用の説明語

注記テキストの前に表示用の説明語固定値を生成する。

注 : CONSER 参加館は現時点で統合資料やシリアルの CONSER-authenticated レコードの ind. 1 に 0 や 1 を使用してはならない。米国議会図書館と OCLC は将来 CONSER データベースでこれらの値の使用が実施される際には告知します。

# 情報なし

$\neq a$  に表示語が入力されている場合や表示語が不要の場合に使用。

0 記述のソース

記述のソースを意味する接頭語 (Source of description:) を生成する場合に使用。

1 確認済の最新号

確認した最新号を示す接頭語 (Latest issue consulted:) を生成する場合に使用。

例 : 588 0# Vol. 2, no. 2 (Feb. 1984); title from cover.

印刷

ind. 1 により印刷時の接頭語が決定する。

## 6 1 0 Subject Added Entry--Corporate Name (R)

sub. の繰り返し規則が変更

$\neq c$  会議の開催地 (R) 以前は (NR)

会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、 $\neq c$  を繰り返す。団体名に限定語として ( ) に入れて補記されている地名は団体名と同じ  $\neq c$  に入力する。

注 : Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で  $\neq c$  の繰り返しが妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは  $\neq c$  が繰り返されていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコーディング方法を踏襲して下さい。現在は  $\neq c$  が繰り返されていない典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、

将来典拠レコードが≠cリポートに修正されれば書誌レコード内のアクセスポイントも更新される事になります。

### 6 1 1 Subject Added Entry--Meeting Name (R)

sub. の繰り返し規則が変更      ≠c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、≠c を繰り返す。団体名に限定語として ( ) に入れて補記されている地名は団体名と同じ≠c に入力する。

注 : Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で≠c の繰り返し  
が妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは≠c が繰り返さ  
れていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコー  
ディング方法を踏襲して下さい。現在は≠c が繰り返されていない  
典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、  
将来典拠レコードが≠c リポートに修正されれば書誌レコード内  
のアクセスポイントも更新される事になります。

### 7 1 0 Added Entry--Corporate Name (R)

sub. の繰り返し規則が変更      ≠c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、  
≠c を繰り返す。団体名に限定語として ( ) に入れて補記され  
ている地名は団体名と同じ≠c に入力する。

注 : Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で≠c の繰り返し  
が妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは≠c が繰り返さ  
れていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコー  
ディング方法を踏襲して下さい。現在は≠c が繰り返されていない  
典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、  
将来典拠レコードが≠c リポートに修正されれば書誌レコード内  
のアクセスポイントも更新される事になります。

### 7 1 1 Added Entry--Meeting Name (R)

sub. の繰り返し規則が変更      ≠c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、  
≠c を繰り返す。団体名に限定語として ( ) に入れて補記され  
ている地名は団体名と同じ≠c に入力する。

注 : Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で≠c の繰り返し  
が妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは≠c が繰り返さ  
れていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコー  
ディング方法を踏襲して下さい。現在は≠c が繰り返されていない  
典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、

将来典拠レコードが≠cリポートに修正されれば書誌レコード内のアクセスポイントも更新される事になります。

## 800 Series Added Entry--Personal Name (R)

- 新sub.                   ≠7   コントロールサブフィールド (NR)  
                                   1文字のコード2つ分 (ポジション0とポジション1が割り当てられている) が入り、リンクされているエントリーの特徴を示す。≠7中のコード定義はコードが入っているポジションに依存しているため、先行するポジションにはコードが含まれている必要があり、後続のポジションは使用しなくてもよい。
- ポジション0の           レコードタイプ  
 コード                    関連する資料のレコードタイプを表すコード。関連する資料のLeader/06 (Type of record) と同じコードとなる。
- a 言語資料
  - c 楽譜
  - d 手稿楽譜
  - e 地図資料
  - f 手稿地図
  - g 投影資料
  - i 非音楽録音資料
  - j 音楽録音資料
  - k 二次元非投影図
  - m コンピュータファイル
  - o キット
  - p 混合資料
  - r 三次元人工物、または自然発生物
  - t 手稿言語資料
- ポジション1の           書誌レベル  
 コード                    関連する資料の書誌レベルを表すコード。関連する資料のLeader/07 (Bibliographic level) と同じコードとなる。
- a モノグラフの構成要素
  - b シリアルの構成要素
  - c コレクション (後からまとめられたもの)
  - d サブユニット (Tag 773 で記述される記録物の構成要素)
  - i 統合資料
  - m モノグラフ
  - s シリアル

## 810 Series Added Entry--Corporate Name (R)

- sub. の繰り返し           ≠c 会議の開催地 (R)   以前は (NR)

## 規則が変更

会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、≠c を繰り返す。団体名に限定語として( )に入れて補記されている地名は団体名と同じ≠cに入力する。

注：Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で≠c の繰り返し  
が妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは≠c が繰り返さ  
れていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコー  
ディング方法を踏襲して下さい。現在は≠c が繰り返されていない  
典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、  
将来典拠レコードが≠c リポートに修正されれば書誌レコード内  
のアクセスポイントも更新される事になります。

## 新 s u b .

## ≠7 コントロールサブフィールド (NR)

1文字のコード2つ分 (ポジション0 とポジション1 が割り当  
てられている) が入り、リンクされているエントリーの特徴を  
示す。≠7 中のコード定義はコードが入っているポジションに  
依存しているので、先行するポジションにはコードが含まれて  
いる必要があり、後続のポジションは使用しなくてもよい。

ポジション0の  
コード

## レコードタイプ

関連する資料のレコードタイプを表すコード。関連する資料の  
Leader/06 (Type of record) と同じコードとなる。

- a 言語資料
- c 楽譜
- d 手稿楽譜
- e 地図資料
- f 手稿地図
- g 投影資料
- i 非音楽録音資料
- j 音楽録音資料
- k 二次元非投影図
- m コンピュータファイル
- o キット
- p 混合資料
- r 三次元人工物、または自然発生物
- t 手稿言語資料

ポジション1の  
コード

## 書誌レベル

関連する資料の書誌レベルを表すコード。関連する資料の  
Leader/07 (Bibliographic level) と同じコードとなる。

- a モノグラフの構成要素
- b シリアルの構成要素
- c コレクション (後からまとめられたもの)
- d サブユニット (Tag 773 で記述される記録物の構成要素)
- i 統合資料
- m モノグラフ

## s シリアル

## 8 1 1 Series Added Entry--Meeting Name (R)

sub. の繰り返し  
規則が変更

≠c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、  
≠c を繰り返す。団体名に限定語として ( ) に入れて補記され  
ている地名は団体名と同じ ≠c に入力する。

注 : Tag 110、111、610、611、710、711、810、811 で ≠c の繰り返し  
が妥当にもかかわらず、該当の典拠レコードでは ≠c が繰り返さ  
れていないアクセスポイントについては、典拠ファイルでのコー  
ディング方法を踏襲して下さい。現在は ≠c が繰り返されていない  
典拠レコードに対してアクセスポイントがリンクされた場合、  
将来典拠レコードが ≠c リポートに修正されれば書誌レコード内  
のアクセスポイントも更新される事になります。

新 s u b .

≠7 コントロールサブフィールド (NR)  
1文字のコード2つ分 (ポジション0 とポジション1 が割り当  
てられている) が入り、リンクされているエンタリーの特徴を  
示す。≠7 中のコード定義はコードが入っているポジションに  
依存しているので、先行するポジションにはコードが含まれて  
いる必要があり、後続のポジションは使用しなくてもよい。

ポジション0の  
コード

レコードタイプ  
関連する資料のレコードタイプを表すコード。関連する資料の  
Leader/06 (Type of record) と同じコードとなる。

- a 言語資料
- c 楽譜
- d 手稿楽譜
- e 地図資料
- f 手稿地図
- g 投影資料
- i 非音楽録音資料
- j 音楽録音資料
- k 二次元非投影図
- m コンピュータファイル
- o キット
- p 混合資料
- r 三次元人工物、または自然発生物
- t 手稿言語資料

ポジション1の  
コード

書誌レベル  
関連する資料の書誌レベルを表すコード。関連する資料の  
Leader/07 (Bibliographic level) と同じコードとなる。





**1 1 0 Main Entry-Corporate Name (NR)**

s u b . の 繰り返し規則変更 ≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR) 会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地は繰り返した ≠ c に入力する。限定語として ( ) で団体名に付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

**1 1 1 Main Entry-Meeting Name (NR)**

s u b . の 繰り返し規則変更 ≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR) 会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地は繰り返した ≠ c に入力する。限定語として ( ) で団体名に付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

**1 6 2 Heading: Medium of Performance Term (NR)**

T a g 新設

定義 演奏手段の用語 (Medium of Performance Term) は確定用語の典拠レコードまたは参照典拠レコードにおいて標目として使用される。用語は複数の単語から成る場合もある。確定用語の典拠レコードでは、Tag 162 には演奏の手段用語の確定形が入っており、参照典拠レコードでは、演奏手段の用語の非確定形が入っている。演奏手段の用語では、楽器、声域、アンサンブル、楽曲を演奏するために用いられるその他の手段を指定する。

i n d . 1 # 未定義

i n d . 2 # 未定義

s u b . ≠ a 演奏手段の用語 (NR) 複数の単語から成る場合あり。

例 : 162 ## violin  
162 ## orchestra  
162 ## mixed voices

索引 ≠ a は標目語インデックス (me:) に索引される。索引は将来利用可能となる。OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listserv などに変更後の索引利用可能を告知する。

**3 8 5 Audience Characteristics (R)**

## T a g 新設

## 定義

資料が対象としている人物のカテゴリ、または資料内容が  
 適当と想定される知的レベルを代表する人物のカテゴリ。

ターゲット層が特定されていない場合は、同じ語彙ソースや  
 コードリストから複数の資料対象者特徴を1つの385内の  
 個別の≠a、≠bに入力する。ターゲット層が特定されてい  
 れば、385に入る特徴は全て同じ層に由来する。異なる語彙ソ  
 ースから取った用語は個別のTag 385に入力する。

- i n d . 1 # 未定義
- i n d . 2 # 未定義
- s u b . ≠ a 資料対象者を表す用語 (R)  
 記述資料著作の対象者。資料対象者が複数のターゲット層に  
 あたる場合には sub. を繰り返す。
- ≠ b 資料対象者コード (R)  
 記述資料著作が意図する対象者を表すコード。
- ≠ m ターゲット層を表す用語 (NR)  
 ≠a、≠bにある語やコードが含まれているターゲット層を示す  
 語(例えば、年齢層、宗教団体)。
- ≠ n ターゲット層を表すコード (NR)  
 ≠a、≠bにある語やコードが含まれているターゲット層を示す  
 コード(例えば、年齢層、宗教団体)。
- ≠ 0 典拠レコード管理番号または標準番号 (R)  
 ≠0には関連した典拠レコードのシステム管理番号、または  
 国際標準名称識別子 ( I S N I ) のような標準識別子が入る。  
 管理番号や識別子はMARC機関コード (関連典拠レコード  
 に対し)、標準識別子ソースコード (標準識別子スキームに  
 対し) で始め、括弧に入れる。機関コードについては MARC  
 Code List for Organization  
 (<http://www.loc.gov/marc/organizations/>) を、標準識別  
 子のコード体系については Standard Identifier Source Codes  
 ([http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-  
 identifier.html](http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-identifier.html)) を参照。  
 ≠0は異なる管理番号や識別子に対しては繰り返し可。  
 ローカルの典拠識別子を≠0に入力することは可能だが、  
 WorldCat のマスターレコードに追加する事は不可。
- ≠ 2 ソース (NR)  
 資料対象者情報を記録するために使用した用語やコードのソー

スを示すMARCコード。Subject Heading and Term Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/target-audience.html>) と Target Audience Code and Term Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/target-audience.html>) を参照。

- ≠ 3 資料特定 (NR)  
この Tag 内容に該当する記述資料の一部を特定する。

索引 ≠a、≠b、≠m、≠n は実体属性インデックス (en:) に索引される。

索引は将来利用可能となる。OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listserv などに変更後の索引利用可能を告知する。

### 386 Creator/Contributor Characteristics (R)

Tag 新設

定義 名称／タイトルの典拠レコードにおいて、著作の作成者 (creator(s)) や寄与者 (contributor(s)) が所属しているカテゴリー。

所属層が特定されていない場合は、同じ語彙ソースやコードリストから複数の作成者／寄与者を 1 つの 386 内の個別の ≠a、≠b に入力する。ターゲット層が特定されていれば、386 に入る特徴は全て同じ層に由来する。異なる語彙ソースから取った用語は個別の Tag 386 に入力する。

i n d . 1 # 未定義

i n d . 2 # 未定義

s u b . ≠ a 作成者／寄与者を表す語 (R)  
記述対象著作の作成者／寄与者のグループカテゴリー。  
作成者／寄与者が複数の所属層に当たる場合には ≠a を繰り返す。

≠ b 作成者／寄与者コード (R)  
記述対象著作の作成者／寄与者のグループカテゴリーを表すコード。

≠ m 所属層を表す語 (NR)  
≠a、≠b にある語やコードが含まれている層を示す語 (例えば、年齢層、宗教団体)。

- ≠ n 所属層を表す語コード (NR)  
≠ a、≠ bにある語やコードが含まれている層を示す MARC コード (例えば、年齢層、宗教団体)。
- ≠ 0 典拠レコード管理番号または標準番号 (R)  
≠ 0には関連した典拠レコードのシステム管理番号、または国際標準名称識別子 (ISNI) のような標準識別子が入る。管理番号や識別子は MARC 機関コード (関連典拠レコードに対し)、標準識別子ソースコード (標準識別子スキームに対し) で始め、括弧に入れる。機関コードについては MARC Code List for Organization (<http://www.loc.gov/marc/organizations/>) を、標準識別子のコード体系については Standard Identifier Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-identifier.html>) を参照。  
≠ 0は異なる管理番号や識別子に対しては繰り返し可。  
ローカルの典拠識別子を ≠ 0に入力することは可能だが、WorldCat のマスターレコードに追加する事は不可。
- ≠ 2 ソース (NR)  
資料対象者情報を記録するために使用した用語やコードのソースを示す MARC コード。Subject Heading and Term Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/target-audience.html>) と Target Audience Code and Term Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/target-audience.html>) を参照。
- ≠ 3 資料特定 (NR)  
この Tag 内容に該当する記述資料の一部を特定する。

## 索引

≠ a、≠ b、≠ m、≠ n は実体属性インデックス (en:) に索引される。

索引は将来利用可能となる。OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listserv などに変更後の索引利用可能を告知する。

#### 4 1 0 See From Tracing: Corporate Name (R)

##### sub. の 繰り返し規則 変更

- ≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地は繰り返した ≠ c に入力する。限定語として ( ) で団体名に付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

#### 4 1 1 See From Tracing: Meeting Name (R)

s u b . の  
繰り返し規則  
変更

≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地は繰り返した≠ cに入力する。限定語として ( ) で団体名に付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

#### 4 6 2 See From Tracing: Medium of Performance Term (R)

T a g 新設

定義 演奏手段の用語 (Medium of Performance Term) の「から参照」。確定用語の典拠レコード内において、使用されない演奏手段の用語から「から参照」を辿るために使用。演奏手段の用語では、楽器、声域、アンサンブル、楽曲を演奏するために用いられるその他の手段を指定する。

i n d . 1 # 未定義

i n d . 2 # 未定義

s u b . ≠ a 演奏手段の用語 (NR)  
複数の単語から成る場合あり。

≠ i 関係性情報 (R)  
Tag 462 中の実体と 1XX 中の実体との関係を示す。または、Tag の数字や≠ w (コントロールサブフィールド) 中のコードからシステムが自動生成する参照指示語ではなく、文章で参照指示語を表現するために用いる。

≠ w コントロールサブフィールド (NR)  
4 桁分 (0~3) のポジションを使用し、情報の表示をコントロールしたり、関係、制限、状態を特定するのに使用する。

ポジション 0 1XX との関係性を Tag よりも詳細に表す。

ポジション 1 トレーシング使用の制限を表す。

ポジション 2 以前の標目形の場合、どの形式のものかを表す。

ポジション 3 参照の生成及び非表示。

それぞれのポジションで使用するコードについては、LC の MARC 21 Authority 中の Tracings and References-General Information <http://www.loc.gov/marc/authority/adtracing.html> を参照。

≠ 4 関係性コード (R)  
462 と 1XX との関係をコードで表したものの。

≠ 5 適用機関 (R)  
典拠レコードにトレーシング、参照、リンクするエントリーを追加した機関や組織の MARC コード。その典拠レコードに対して全世界共通に適用されるものではなく、その機関に特有

の情報を記録する場合に使用される。MARC 21レコード中で使用される機関コードについてはMARC Code List for Organization (<http://www.loc.gov/marc/organizations/>)を参照。

例) 162 ## violin  
462 ## fiddle (violin)

索引                    ≠aは標目語インデックス (me:) に索引される。≠i、≠4は関係性インデックス (rx:) に索引される。その他は未定。

索引は将来利用可能となる。OCLCはログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listservなどで変更後の索引利用可能を告知する。

### 5 1 0 See Also From Tracing: Corporate Name (R)

s u b . の                    ≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
繰り返し規則                    会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地  
変更                    は繰り返した≠cに入力する。限定語として ( ) で団体名に  
付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

### 5 1 1 See Also From Tracing: Meeting Name (R)

s u b . の                    ≠ c 会議の開催地 (R) 以前は (NR)  
繰り返し規則                    会議が開催された地名、または機関名。複数の隣接した開催地  
変更                    は繰り返した≠cに入力する。限定語として ( ) で団体名に  
付加された地名については別のサブフィールドには入力しない。

### 5 6 2 See Also From Tracing: Medium of Performance Term (R)

T a g 新設

定義                    演奏手段の用語 (Medium of Performance Term) の「をも見よ参照」。確定用語の典拠レコード内において、関連した演奏手段の用語から「をも見よ参照」を辿るために使用。演奏手段の用語では、楽器、声域、アンサンブル、楽曲を演奏するために用いられるその他の手段を指定する。  
訳者注：上記原文に誤植があり、LCのMARC 21 Authorityに従った訳となっています。

i n d . 1                    #    未定義

i n d . 2                    #    未定義

- s u b .
- ≠ a 演奏手段の用語 (NR)  
複数の単語から成る場合あり。
  - ≠ i 関係性情報 (R)  
Tag 562 中の実体と 1XX 中の実体との関係を示す。または、Tag の数字や≠w (コントロールサブフィールド) 中のコードからシステムが自動生成する参照指示語ではなく、文章で参照指示語を表現するために用いる。
  - ≠ w コントロールサブフィールド (NR)  
4 桁分 (0~3) のポジションを使用し、情報の表示をコントロールしたり、関係、制限、状態を特定するのに使用する。
- ポジション 0 1XX との関係性を Tag よりも詳細に表す。  
 ポジション 1 トレーシング使用の制限を表す。  
 ポジション 2 以前の標目形の場合、どの形式のものかを表す。  
 ポジション 3 参照の生成及び非表示。  
 それぞれのポジションで使用するコードについては、LC の MARC 21 Authority 中の Tracings and References-General Information <http://www.loc.gov/marc/authority/adtracing.html> を参照。
- ≠ 4 関係性コード (R)  
562 と 1XX との関係をコードで表したものの。
  - ≠ 5 適用機関 (R)  
典拠レコードにトレーシング、参照、リンクするエントリーを追加した機関や組織の MARC コード。その典拠レコードに対して全世界共通に適用されるものではなく、その機関に特有の情報を記録する場合に使用される。MARC 21 レコード中で使用される機関コードについては MARC Code List for Organization (<http://www.loc.gov/marc/organizations/>) を参照。

索引 ≠a は標目語インデックス (me:) に索引される。≠i、≠4 は関係性インデックス (rx:) に索引される。その他は未定。

索引は将来利用可能となる。OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listserv などに変更後の索引利用可能を告知する。

## 672 Title Related to the Entity (R)

Tag 新設

定義 典拠レコード中の 100、110、111、151 で表される実体とある程度関連する著作。

- i n d . 1 # 未定義
- i n d . 2 索引に含めない文字数  
ソートやファイリングの際に無視すべきタイトル冒頭の定冠詞、不定冠詞 (Le、An 等) に関する文字数。
- 0 索引に含めない文字がない  
無視すべき冒頭の冠詞がない。タイトルフィールド冒頭の変音記号と特殊文字は冒頭の冠詞についていない限り、索引に含めない文字数にはカウントしない。
- 1-9 索引に含めない文字数  
ソートやファイリングの際に無視すべきタイトル冒頭の定冠詞と不定冠詞。冠詞についている変音記号、スペース、句読点、及び冠詞後最初に索引される語の前のスペースと句読点も索引に含めない文字数としてカウントされる。ただし、最初に索引される文字に付随する変音記号は索引に含まれない文字とは見なさない。
- s u b . ≠ a タイトル (NR)  
典拠レコードにより表される実体と関連したタイトル。
- ≠ b タイトルの残りの部分 (NR)  
典拠レコードにより表される実体と関連したタイトルの残りの部分。
- ≠ f 日付 (NR)  
≠a 中のタイトルに関連する日付。
- ≠ w 書誌レコード管理番号 (R)  
関連したレコードのシステム管理番号。管理番号を付与した機関を示す MARC コードが ( ) に入った状態で前に付く。
- ≠ 0 典拠レコード管理番号または標準番号 (R)  
≠0 には関連した典拠レコードのシステム管理番号、または国際標準名称識別子 (ISNI) のような標準識別子が入る。管理番号や識別子は MARC 機関コード (関連典拠レコードに対し)、標準識別子ソースコード (標準識別子スキームに対し) で始め、括弧に入れる。機関コードについては MARC Code List for Organization (<http://www.loc.gov/marc/organizations/>) を、標準識別子のコード体系については Standard Identifier Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-identifier.html>) を参照。  
≠0 は異なる管理番号や識別子に対しては繰り返し可。  
ローカルの典拠識別子を ≠0 に入力することは可能だが、WorldCat のマスターレコードに追加する事は不可。

索引 ≠a、≠b、≠f は注記 (nt:) 及びタイトル (ti:、td:) のインデックスに索引される。その他は未定。

索引は将来利用可能となる。OCLC はログオンメッセージ、Connexion ニュース、OCLC-CAT listserv などに変更後の索引利用可能を告知する。

### 673 Title Not Related to the Entity (R)

Tag 新設

定義 典拠レコード中の 100、110、111、151 で表される実体と全く関連のない著作。  
 訳者注：上記原文に誤植があり、LC の MARC 21 Authority に従った訳となっています。

ind. 1 # 未定義

ind. 2 索引に含めない文字数  
 ソートやファイリングの際に無視すべきタイトル冒頭の定冠詞、不定冠詞 (Le、An 等) に関する文字数。

0 索引に含めない文字がない  
 無視すべき冒頭の冠詞がない。タイトルフィールド冒頭の変音記号と特殊文字は冒頭の冠詞についていない限り、索引に含めない文字数にはカウントしない。

1-9 索引に含めない文字数  
 ソートやファイリングの際に無視すべきタイトル冒頭の定冠詞と不定冠詞。冠詞についている変音記号、スペース、句読点、及び冠詞後最初に索引される語の前のスペースと句読点も索引に含めない文字数としてカウントされる。ただし、最初に索引される文字に付随する変音記号は索引に含まれない文字とは見なさない。

sub. ≠a タイトル (NR)  
 典拠レコードにより表される実体と関連のないタイトル。

≠b タイトルの残りの部分 (NR)  
 典拠レコードにより表される実体と関連のないタイトルの残りの部分。

≠f 日付 (NR)  
 ≠a 中のタイトルに関連する日付。

≠w 書誌レコード管理番号 (R)

関連したレコードのシステム管理番号。管理番号を付与した機関を示すMARCコードが（ ）に入った状態で前に付く。

- ≠0 典拠レコード管理番号または標準番号（R）  
 ≠0には関連した典拠レコードのシステム管理番号、または国際標準名称識別子（ISNI）のような標準識別子が入る。管理番号や識別子はMARC機関コード（関連典拠レコードに対し）、標準識別子ソースコード（標準識別子スキームに対し）で始め、括弧に入れる。機関コードについてはMARC Code List for Organization (<http://www.loc.gov/marc/organizations/>) を、標準識別子のコード体系についてはStandard Identifier Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-identifier.html>) を参照。  
 ≠0は異なる管理番号や識別子に対しては繰り返し可。ローカルの典拠識別子を≠0に入力することは可能だが、WorldCatのマスターレコードに追加する事は不可。

索引 ≠a、≠b、≠fは注記（nt:）及びタイトル（ti:、td:）のインデックスに索引される。その他は未定。

索引は将来利用可能となる。OCLCはログオンメッセージ、Connexionニュース、OCLC-CAT listservなどで変更後の索引利用可能を告知する。

## 7 1 0 Established Heading Linking Entry : Corporate Name (R)

sub. の繰り返し規則が変更 ≠c 会議の開催地（R） 以前は（NR）  
 会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、≠cを繰り返す。団体名に限定語として（ ）に入れて補記されている地名は団体名と同じ≠cに入力する。

## 7 1 1 Established Heading Linking Entry : Meeting Name (R)

sub. の繰り返し規則が変更 ≠c 会議の開催地（R） 以前は（NR）  
 会議の開催地または開催機関名。複数の開催地がある場合は、≠cを繰り返す。団体名に限定語として（ ）に入れて補記されている地名は団体名と同じ≠cに入力する。

## 7 6 2 Established Heading Linking Entry : Medium of Performance Term (R)

Tag 新設

定義 同典拠レコード中の162と同意義の演奏手段を表す用語。システム内で標目間をリンク、もしくは異なるシソーラスや典拠

フィールドからのリンクを形成する。

- i n d . 1 # 未定義
- i n d . 2 シソーラス  
標目を構成する際に使用される名称/件名標目システムまたはシソーラスの種類。
- 0 LC 件名標目/名称典拠ファイル  
LC の件名標目 (LCSH)/名称典拠協力 (NACO) ファイル (いずれも LC で協力的に維持されている) に従っている、且つ/もしくはそれらの中で使用するのに適した標目。
- 1 LC 児童向け件名標目  
LCSH の「AC 件名標目」セクションに従っている標目。
- 2 Medical Subject Headings/NLM 名称典拠ファイル  
医学件名表目表 (MeSH) 及び/または米国立医学図書館の名称典拠ファイルに従った標目。
- 3 National Agricultural Library 件名ファイル  
米国立農学図書館の件名典拠ファイルに従った標目。
- 4 ソースの特定なし  
その他の第 2 インジケータや ≠2 の MARC コードによって特定できない統制リストに従った標目。
- 5 Canadian Subject Headings/LAC 名称典拠ファイル  
カナダ件名標目及び/またはカナダ国立公文書館の名称典拠ファイルに従っている、且つ/もしくはそれらの中で使用するのに適した標目。
- 6 Répertoire de vedettes-matière  
ラバル大学図書館により維持されている Répertoire de vedettes-matière に従っている、且つ/もしくはそれらの中で使用するのに適した標目。
- 7 ≠2 で特定されるソース  
その他の第 2 インジケータに該当するものがなく、≠2 に含まれる MARC コードにより特定される統制リストに従った標目。
- s u b . ≠ a 記入項目としての演奏手段用語 (NR)  
複数の単語から成る場合あり。
- ≠ i 関係性情報 (R)
- ≠ w コントロールサブフィールド (NR)  
2 桁分 (0~1) のポジションを使用し、情報の表示をコント

ロールしたり、関係、制限、状態を特定するのに使用する。

ポジション0 リンクの表示

ポジション1 置き換えの複雑度

それぞれのポジションで使用するコードについては、LCのMARC 21 Authority中の7XX-Heading Linking Entries-General Information <http://www.loc.gov/marc/authority/ad7xx.html>を参照。

≠2 標目または主題用語のソース (NR) ← 原文がなく、LCのMARC 21 Authorityにあり。

ind.2が「7」の場合の標目または用語のソースをコードで表したもの。コードについては、Musical Instrumentation and Voice Code Source Codes

<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/musical-instrumentation.html>を参照。

≠4 関係性コード (R) ← LCのMARC 21 Authorityにはなし。誤植のようです。

≠5 適用機関 (R)

典拠レコードにトレーシング、参照、リンクするエントリーを追加した機関や組織のMARCコード。その典拠レコードに対して全世界共通に適用されるものではなく、その機関に特有の情報を記録する場合に使用される。MARC 21レコード中で使用される機関コードについてはMARC Code List for Organization (<http://www.loc.gov/marc/organizations/>)を参照。

≠0 典拠レコード管理番号または標準番号 (R)

≠0には関連した典拠レコードのシステム管理番号、または国際標準名称識別子 (ISNI)のような標準識別子が入る。管理番号や識別子はMARC機関コード (関連典拠レコードに対し)、標準識別子ソースコード (標準識別子スキームに対し)で始め、括弧に入れる。機関コードについてはMARC Code List for Organization

(<http://www.loc.gov/marc/organizations/>)を、標準識別子のコード体系についてはStandard Identifier Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/standard-identifier.html>)を参照。

≠0は異なる管理番号や識別子に対しては繰り返し可。ローカルの典拠識別子を≠0に入力することは可能だが、WorldCatのマスターレコードに追加する事は不可。

索引

≠i、≠4は関係性インデックス (rx:)に索引される。その他は未定。← 両方ともこのTagにはないsub.ですので、この部分誤植と思われます。

索引は将来利用可能となる。OCLCはログオンメッセージ、

Connexion ニュース、OCLC-CAT listserv などに変更後の索引  
利用可能を告知する。

### 3. 所蔵レコードの変更

省略

### 4. MARCコードリストの変更

Record Manager と Connexion インターフェイスでの使用

新しいコードは Record Manager と Connexion 両インターフェイスで既に使用可能。

地図資料の新しいソースコード

以下の Tag で使用される :

Format	Tag/subfield
Bibliographic	034≠2
Authority	034≠2

新コードは以下の表の通り。全コードは Cartographic Data Source Codes  
(<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/cartographic-data.html>) を参照。

新コード	引用元
geobase	Geobe.se: Gazetteer ( <a href="http://www.geoba.se/">http://www.geoba.se/</a> )
taw	The Times atlas of the world (New York: Times Books)
usdp	The United States dictionary of places (New York: Somerset Publishers)

記述規則ソースコードの追加

以下の Tag で使用される :

Format	Tag/subfield
Bibliographic	040≠e
Authority	040≠e

新コードは以下の表の通り。全コードは Description Convention Source Codes  
(<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/Descriptive-conventions.html>) を参照。

新コード	引用元
dcrmc	Descriptive cataloging of rare materials (cartographic) (Chicago: Rare Books and Manuscripts Section of the Association of college & Research Libraries)

	( <a href="http://rbms.info/">http://rbms.info/</a> )
--	---

### 性別ソースコードと用語ソースコードの追加

以下の Tag で使用される :

Format	Tag/subfield
Authority	375≠2

新コードは以下の表の通り。全コードは Gender Code and Term Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/gender.html>) を参照。

新コード	引用元
lcsh	Library of congress subject headings (Washington, DC: LC, Cataloging Distriution Service)

### Genre/Form コード及び用語ソースコードの追加

以下の Tag で使用される :

Format	Tag/subfield
Bibliographic	336≠2
	337≠2
	338≠2
	655≠2
Authority	040≠f
	336≠2
	755≠2
	785≠2
Holdings	337≠2
	338≠2

新コードは以下の表の通り。全コードは Genre/Form Code and Term Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/genre-form.html>) を参照。

新コード	引用元
alett	An alphabetical list of English text types (Berlin; New York: Mouton de Gruyter) [pages 23-88 in: Text types and the history of English]
gnd	Gemeinsame Normdatei (Leipzig, Frankfurt: Deutsche Nationalbibliothek)
thema	Thema ( <a href="http://www.editeur.org/151/Thema/">http://www.editeur.org/151/Thema/</a> )

### 件名カテゴリーソースコードの追加

以下の Tag、sub. で使用される :

Format	Tag/subfield
Bibliographic	072≠2
Authority	072≠2

	073≠z
--	-------

追加されたコードは以下の表の通り。全コードは Subject Category Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/subject-category.html>) を参照。

新コード	引用元
thema	Thema ( <a href="http://www.editeur.org/151/Thema/">http://www.editeur.org/151/Thema/</a> )

#### 件名標目と主題語ソースコードの追加

以下の Tag、sub. で使用される：

Format	Tag/subfield
Bibliographic	033≠2 257≠2 380, 381≠2 518≠2 600-651, 654, 662≠2 751, 752≠2
Authority	370, 372, 373, 376, 380, 381≠2 700, 710, 711, 730, 751≠2

追加されたコードは以下の表の通り。全コードは Subject Heading and Term Source Codes (<http://www.loc.gov/standards/sourcelist/subject.html>) を参照。

新コード	引用元
czmesh	Czech MeSH
thema	Thema ( <a href="http://www.editeur.org/151/Thema/">http://www.editeur.org/151/Thema/</a> )